

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 160 2017. 3. 1

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学総合情報メディアセンターC 館内
日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL: 080-9730-1311 FAX:058-293-3384
E-mail: jsei@gifu-u.ac.jp http://jsei.jp/

＝ 日本教育情報学会 第 33 回年会 ＝

開催日：8月26日(土)・27日(日)

会場：芦屋大学 六麓荘キャンパス

テーマ：未来を拓く“人間力”を育てる

第 33 回年会は、芦屋大学を会場として、はじめて兵庫の地で開催することになりました。大学が立地します六麓荘町は、自然豊かな六甲山の麓に、東洋一の別荘地として昭和初期に開発された瀟洒な住宅地の中にあります。

今年の年会テーマは、「未来を拓く“人間力”を育てる」です。昨年度の年会テーマ「21世紀に必要な人間力を考える」を受け継ぎ、「育てる」としました。基調講演では芦屋大学の比嘉学長から人間力の育成についてご講演頂きます。シンポジウムでは、初等、中等、高等教育の専門家および、行政や企業人に登壇いただき、幅広い視点から人間力を育てるとはどういうことか考えていきたいと思えます。また、ICTをはじめ教育関連企業と連携して、展示や体験スペースの設置を予定しております。研究発表では、一般研究と課題研究に分かれ、2日間を横断的な構成で発表をしていただきます。

ところで、芦屋大学と本学会との繋がりを調べますと、初代会長の故木田宏先生と本学初代総長の故福山重一先生は、教育行政を通じて深い繋がりがあったようです。

そのような関係の中、大会運営を預かる重責を与えられたことに、身の引き締まる思いです。会員の皆様の研究交流・活性化につながるようしっかりと職務に取り組んでまいります。

本年度も発表申込が Web 申込となります。一般研究の申し込み方法が若干変わりますのでご注意ください、要項をご熟読の上、期限内に各種手続きを行なって下さいませようお願い申し上げます。また、芦屋市内には数か所しか宿泊施設がありませんが、大阪からも神戸からも交通至便が良い場所です。皆様のご参加とご発表を心よりお待ちしております。

第 33 回年会実行委員長 藤本 光司

開催日：2017年8月26日（土）・27日（日）

会場：芦屋大学 六麓荘キャンパス

<所在地> 〒659-0011 兵庫県芦屋市六麓荘町 13-22

<URL> <http://www.ashiya-u.ac.jp/>

事務局：日本教育情報学会 第33回年会実行委員会

<所在地> 〒659-0011 兵庫県芦屋市六麓荘町 13-22

芦屋大学技術研究棟 若杉研究室

<E-mail> jsei-nenkai@jsei.jp

年会ホームページ：http://jsei.jp/nenkai/nenkai33/

後援：芦屋市教育委員会

日程

<1日目> 8月26日（土）		<2日目> 8月27日（日）	
9:30～	受付	9:30～	受付
10:00～12:00	課題研究発表	10:00～12:00	課題研究発表 一般研究発表
12:00～13:00	昼食・理事会・評議員会	12:00～13:30	昼食
13:15～14:00	総会・学会賞表彰式	13:30～15:30	一般研究発表
14:10～14:50	研究会活動報告		
15:00～16:00	記念講演	16:00～17:00	合同研究会
16:15～17:45	シンポジウム		
18:15～	懇親会		

※変更が生じる場合がありますので、最終版のプログラムにてご確認ください。

【1】 【記念講演】

未来を拓く“人間力”を育てる —教育とスポーツを貫く芯—

比嘉 悟 （芦屋大学学長）

【概要】

私は現在、教職に就き 43 年目を迎え、その間、教員だけでなく、教育行政、体育館職員、巨大イベント等の多くの業務、多彩な方々から生きた智恵や教養を学び、失敗体験から自分を磨く術を得ました。

スポーツ選手から指導者へ、指導者から教育者へ。その流れを貫く「人間力」を中心に「教育者の資質」や「生きた教育」などについて、学長として、その信念を語らせていただきたいと思います。

【2】 シンポジウム

テーマ：未来を拓く“人間力”を育てる

<登壇者>

コーディネータ：藤本 光司（芦屋大学 教授）

沖 裕貴（立命館大学 教授）

- ・高等教育開発の観点から

高田 英一（神戸大学 准教授）

- ・大学評価、IR の観点から

高橋 麻司（芦屋大学大学院生）

元 DAIKIN AIRCONCITIONING FRANCE 企画部長／ダイキン工業株式会社）

- ・企業人育成，海外での人材育成の観点から

伊田 義信（芦屋市立岩園小学校長，元芦屋市教育委員会学校教育部部長）

- ・教育行政，学校教育の観点から

竹谷 房寛（株式会社 大塚商会 LA プロモーション G）

- ・教育環境，ICT 活用の観点から

郡司 穰（国際協力機構）

- ・国際協力，人材育成の観点から

【3】 課題研究

■ 教育資料研究会

【テーマ】 次期学習指導要領における新たな学びとその評価

【コーディネータ】 久世 均（岐阜女子大学）、斎藤 陽子（岐阜女子大学）

【要旨】

現在、文部科学省では、次期学習指導要領改訂に向けて、その動きを加速させています。その中で、文部科学省は、次期学習指導要領の方向性を「論点整理」として報告しており、その中では子供に育成すべき資質・能力を掲げ、「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」の3つを重視しています。

ここでは、「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けて、これから求められる新たな学びとその評価に関する研究を深めていきたいと考えています。様々な観点から皆様と研究を広め、深めることができればと思います。皆様のご発表を、お待ちしております。

■ 国際交流研究会

【テーマ】 国際研究交流の活発化を考える

【コーディネータ】 小川 勤（山口大学）、陳 那森（関西国際大学）

【要旨】

国際交流研究会も3年目を迎え、平成28年度の11月までに、研究会を2回、年会の課題研究を2回実施してきた。また、研究会誌も2巻発刊してきた。

そこで、これまでの研究活動の成果を検証するとともに、研究会として今後取り組むべき課題を改めて検討する機会としたい。また、本研究会の課題研究では毎年海外の研究者にも参加していただき、日頃の研究活動の成果を発表して頂いている。

今回の課題研究でも海外の研究者に自らの研究成果を発表する機会を提供するとともに、我が国の研究者にも国際研究交流の立場から幅広い分野からの研究成果を発表する機会を設け、国際研究交流を活発化していきたい。

■ デジタルアーカイブ研究会

【テーマ】 地方創生とデジタルアーカイブ

【コーディネータ】 井上 透（岐阜女子大学）、皆川 雅章（札幌学院大学）

【要旨】

地方創生が政府の重要施策になっている。地域の活力を生み出すには、次代を担う若者達の成長を促すことが必須である。そのアプローチとして、住民自身の手による地域の歴史、祭りや伝統芸能のアーカイブ化を行い、世代を超えた対話と交流を図ることが必要である。

さらに、若者が伝統を守りつつ新たな視点で文化資源情報を発信することを通じ、地方創生・地域活性化につなげていく方法を検討していきたい。同時に、社会での

共有財産・オープンデータとして、2次利用可能な形態でのデジタルアーカイブ提供による地域での活用の自由度確保の課題についても議論していきたい。

■ 著作権等研究会

【テーマ】 オープンサイエンスと権利

【コーディネータ】 大和 淳（福岡教育大学）、横山 隆光（岐阜女子大学）

【要旨】

未来を拓く人材には、自らの研究の一分野に関するデータを基に細分化するのではなく、様々な専門分野のデータを横断的に活用しつつ科学的に証明することが求められる。また、オープンサイエンスは研究者だけではなく、市民の知見もどのように含めていくのかなど、20世紀の科学とは異なる方法の確立へと向かっている。

その認識の上で、一つのハードルは権利の問題である。著作権・肖像権・個人情報・慣習などをオープンサイエンスの中で、どのように扱うのかについて研究・協議を深めたい。実践を踏まえた活動だけでなく、今後の方向性についての提案の発表にも期待したい。

■ ICT 活用研究会

【テーマ】 ICT を活用し、高度情報社会に相応しい人間力を養う

【コーディネータ】 河野 敏行（岡山理科大学）、反田 任（同志社中学・高等学校）

【要旨】

本研究会では、ICT とネットワークを活用して高度情報社会に相応しい人間力育成を目指し養うことを目標として、次のようなテーマを設ける。

- (1) 自ら学ぼうとする力を支援する ICT の活用
- (2) 生きる力を育むネットワークの活用
- (3) 創造的な力を生み出す ICT の活用
- (4) 未来に生きる子どもたちの力を育む教員のネットワークの構築
- (5) 学習を支援する ICT の活用

■ 教職開発研究会

【テーマ】 アクティブラーニング、教育プログラム開発、IR

【コーディネータ】 森 雅生（東京工業大学）、福井 正康（福山平成大学）

【要旨】

現在、知識基盤社会の到来、グローバル化等の教育を取り巻く急激な環境変化の中で、教職員にも新しい知識技能を身に付けることが求められており、それに伴い、教職開発（FD/SD）における多様な分野における進展と深化に期待が高まっている。

本研究会では、教職開発（FD/SD）に関する現代的な課題である IR、アクティブラーニング、教育プログラム開発に関する課題研究のセッションを開催し、課題と解決策を協議する。前回年会にて開催の IR、アクティブラーニング、教育プログラ

ム開発に関する教職開発研究会の研究成果を踏まえて、議論の深化を図りたい。

■ 特別支援教育 AT 研究会

【テーマ】特別支援教育における最新の情報機器活用

【コーディネータ】金森 克浩（国立特別支援教育総合研究所），
大杉 成喜（熊本大学教育学部）

【要旨】

特別支援教育の領域では、1970年代より障害のある児童生徒の個別の教育的ニーズに応じた、機器利用が行われ、学習や生活を支援する試みが続けられてきた。コンピュータ等情報機器の普及・発展により、現在は学習や生活の一部として浸透している。さらに昨今はタブレット PC や超小型 PC、IoT 等が普及し、日常的に生活や学習を支援するツールとして発展してきている。近年、視線入力デバイス、筋電センサーを始め生体センサリングデバイスの発展もめざましい。これらは安価で学校現場でも利用しやすい形で提供されるようになってきた。

本課題研究では過去の特別支援教育における機器利用研究を振り返るとともに、最新の入出力デバイスを特別支援教育現場における利用の成果や課題について議論するものである。

【4】 研究発表申込募集

① 研究発表申込み資格

第 1 発表者（当日発表を行う方）は、会員資格（正会員・学生会員）が必要となります。非会員の方は、学会運営本部事務局（jsei@gifu-u.ac.jp）に申込み、入会登録手続きを行ってください。

★ 会員番号をお忘れの方へ ★

郵送物の宛名ラベルに印字してある 4 ケタの数字が会員番号となります。ご参照ください。

※研究発表の申し込みや発表原稿の提出には、会員番号が必要となります。

② 発表内容について

「教育情報に関する研究」であれば特に内容は問いません。「教育情報」とは、「教育に関する情報」と「情報に関する教育」の内容となります。

今年度より、一般研究発表においては、希望のセッションを選択して頂くように変更いたします（第一希望・第二希望）。発表セッションについては、他の発表者の人数や内容によって、割り振りさせていただきます。また、発表申込件数により希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

設定するグループは下記の 7 つです。第二希望まで選択の上、お申し込みください。

- ・情報教育
- ・教育方法
- ・学習評価
- ・教育実践
- ・教科教育
- ・教材開発
- ・デジタルアーカイブ
- ・その他

※発表申込件数によっては、セッションを分割し新しいセッションを設ける場合があります。

また、例年通り発表内容に関するキーワードは下記の通りです。関連するものを選択してください。

キーワード

教育情報管理, 文献資料, 教材, 電子教科書, デジタル・コンテンツ, 教材開発, メタデータ, 情報カテゴリー, シソーラス, デジタル・アーカイブ, 知的財産権, プライバシー, カリキュラム, 教材研究, 学習評価, 授業分析, 教育システム, 共同学習 (遠隔協働学習), 交流学习, 高大連携, 生涯学習, 教師教育, 情報教育, 教科教育, 情報処理教育, eラーニング, 教育情報システム, 学習ソフトウェア開発, 学習情報管理システム, データベース, 情報検索, インターネット, 遠隔教育, 遠隔教育システム, ネットワーク, プレゼンテーション, 電子黒板, マルチメディア, 国際貢献・協力, 国際理解, 特別支援教育, 高等教育, 専門教育, 技術教育, 初等教育, 中等教育, 情報モラル, メディアリテラシー, アクティブラーニング, 反転学習, FD・SD, IR, 接続教育, ラーニング・コモンズ, キャリア教育, 児童教育, 幼児教育, 人間力, 企業連携

③ 発表申し込み方法について

年会ホームページ上の<申込みフォーム>からお願いします。
年会ホームページ以外での受け付けおよび申込期限後のお申込みは受け付けることができませんのでご注意ください。
なお、申込み後の申込内容変更については、メール<jsei-nenkai@jsei.jp>にご連絡をお願いします。

《1》 発表申し込み方法

- ・WEB上の発表申し込みフォームからお申込みください。
- ・第33回年会ホームページ (<<http://jsei.jp/nenkai/nenkai33/>>) の [発表申込み] のページにある [発表申し込みフォーム] から、必要事項をご入力いただき、お申込みください。

《2》 発表申し込み期間

- ・3月1日(水)～4月28日(日)

《3》 申込み完了メール

- ・WEB上の [申込みフォーム] からお申込みをいただき、登録が完了すると、お申込み時に入力されたEメールアドレスへ『申込み完了メール』が送信されます。
※申込み完了後は必ず『申込み完了メール』が届いていることをご確認ください。

《4》 発表可否通知期間

- ・5月14日(日)頃(発表のお申込みをいただいた方には、発表の可否をメールで連絡します。)

《5》 原稿作成

- ・発表を可とされた方には、原稿の執筆要項(word)をお送りします。
- ・論文の原稿枚数は、課題研究は **4 枚**，一般研究は **2 枚** とします。

《6》 原稿提出期間

- ・6月1日(木)～7月14日(金)

《7》 課題研究に関する注意事項

- ・課題研究は各研究会のテーマに沿って研究発表題目をつけてください。
- ・課題研究は年会実行委員会で調整し、テーマごとに担当コーディネータが検討し、審査します。その結果、発表「否」となる場合もあることをあらかじめご了承ください。
- ・課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究として発表していただくことがあります。
- ・第1発表者(講演者)として課題研究は、1人につき1件のみとします。ただし、年会実行委員会から特に依頼された課題研究についてはこの限りではありません。

《8》 一般研究に関する注意事項

- ・第1発表者(講演者)としての一般研究は、1人につき1件のみとします。
- ・発表等の時間は、発表10分、質疑4分、交代1分です。
- ・一般研究は会員の方のみ発表可能です。

《9》 発表申込フォームの書き方について

- ・共同研究者は何人でもかまいません。
- ・概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・一般研究については、希望セッションを選んでください。
- ・キーワードとして前記一般研究発表のキーワードの中から2～5語以内を選んでください。
- ・執筆要項などの送付先(メールアドレス等)は、発表者への連絡時期である6月を想定して、自宅または勤務先を記入してください。

《10》 原稿提出フォームの書き方について

- ・原稿は、執筆要綱に従い作成していただき、PDF形式に変換後、原稿提出フォームよりご提出ください。

《11》 参加フォームについて

- ・参加申し込みの際には、参加費などの振込完了後、参加申込フォームより参加手続きを行ってください。

《12》 発表会場について

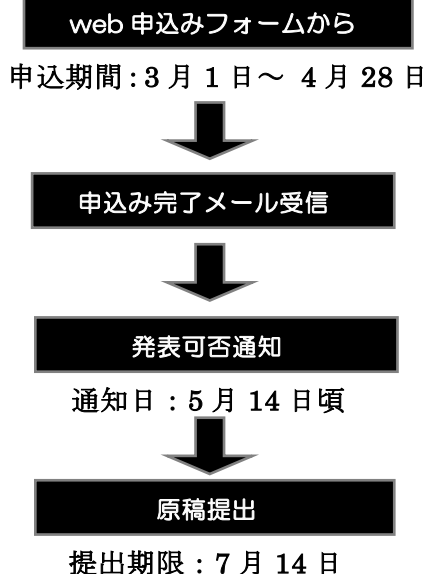
- ・会場で使用できる機器は、プロジェクタのみです。パソコンは各自で持参してください。
- ・プロジェクタには、HDMI端子はございません。VGA端子での発表準備をお願いします。
- ・会場では、Wi-Fi等のインターネットの貸し出しはございません。
- ・会場には、徒歩で来場していただくことができません。そのため、会場へ直通的のシ

- チャトルバスを準備していますので、チャトルバスをご利用ください。
- ・チャトルバスの乗車位置は、年会用 HP で掲載しています。

★ 発表申込書の記入の注意事項

- ① 発表者とは
研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ② 発表件数について
一般研究発表者として 1 人につき 1 件、課題研究発表者として 1 人につき 1 件とします。
(最大 2 件の発表ができます。)
- ③ キーワードについて
前記の<キーワード>の中から 2~5 語以内を選んでください。

発表申込み手順



【5】 参加について

① 参加申込について

次号ニューズレターで、申込み方法等詳細についてご案内いたします。

② 参加費用について

参加費，年会論文集代，懇親会費は下記のとおりです。

なお，支払方法につきましては，次号の Newsletter でご案内いたします。

○参加費

- | | | | |
|-----------|-----|---------|-----------|
| ・会員<事前申込> | 参加費 | 3,000 円 | |
| ・会員<当日> | 参加費 | 4,000 円 | |
| ・非会員 | 参加費 | 4,000 円 | ※後援教職員は無料 |

○年会論文集代 3,500 円

○懇親会費 5,000 円

【6】 年会開催までのスケジュール

- 発表申込期間 2017年3月 1日（水）～4月28日（金）
- 発表決定通知 2017年5月14日（日）頃
- 原稿提出期間 2017年6月 1日（木）～7月14日（金）
- 参加申込期間 2017年6月 1日（木）～8月 7日（月）

【7】 広告掲載募集

年会論文集用の広告募集いたします。広告を掲載頂いた企業様には、当日会場内ブースにて、無料で製品紹介及び展示等をしていただくことが可能です。企業のPRや情報交換の場として大いにご活用いただければ幸いです。

広告に関する詳細は下記の通りとなっております。会員の皆さまにおかれましてはお知り合いの関連企業等にお声掛け頂き、多くの企業の方にご協力いただけるよう、ご紹介のほどよろしくお願いいたします。

広告掲載申込やご質問は、年会事務局 (jsei-nenkai@jsei.jp) までお寄せください。

色	1色（黒）
頁	1/1頁・1/2頁
寸法	1/1頁（天地 240mm×左右 160mm） 1/2頁（天地 115mm×左右 160mm）
料金	1/1頁（30,000円） 1/2頁（20,000円）
形式	Word, JPEG
締切	2017年4月28日

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学総合情報メディアセンターC館内

TEL: 080-9730-1311

FAX: 058-293-3384

E-mail: jsei@gifu-u.ac.jp

HP: <http://jsei.jp/>